

私たちの仲間

(全国介護者支援団体連合会会員)

★:幹事団体、無印:正会員団体、♪:準会員団体

2017年12月17日現在

・北海道ブロック

- ・栗山町社会福祉協議会★
- ・えべつかアラーズ

・関西ブロック

京都

- ・男性介護研究会★
- 兵庫
- ・男性介護者支援ネットワークひょうご★
- ・(NPO)つどい場さくらちゃん★

・東北ブロック

宮城・岩手

- ・介護者サポートネットワーク ケアむすび★

・中国ブロック

岡山

- ・働く介護者ほっとステーション「すまいる」★
- ・(NPO)介護ん

広島

- ・(NPO)家族介護者支援ネットワーク・はぴねす

・四国ブロック

仲間を募集しています

・九州・沖縄ブロック

仲間を募集しています

*このほか、個人の方(準会員)にもご入会いただいています

・中部ブロック

富山

- ・ケアアラーズカフェ みやの森カフェ

石川

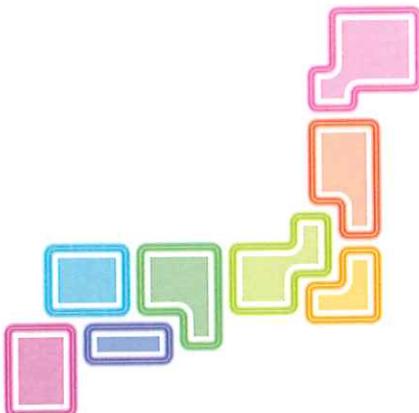
- ・(一社)ケアサポートネットワークピーナッツ

愛知

- ・(公社)認知症の人と家族の会愛知県支部★

- ・(NPO)てとりん★

- ・(一社)ハッピーネット♪



(しゃかいふくしほうじん くりやまちょうしゃかいふくしきょうぎかい)
社会福祉法人 栗山町社会福祉協議会

正会員

●団体概要

◇代表（会長）：橋 一也

◇会員数：栗山全町民（12,091人）

◇活動地域：栗山町全域

◇住所：〒069-1513 北海道夕張郡栗山町朝日4丁目9番地36

◇e-mail：k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

◇HP：<http://kuriyama-shakyo.or.jp>

●主な活動

- ・命のバトン配布
- ・在宅サポーターによるケアラーセンターの訪問
- ・宅配電話帳の作成・配布
- ・ケアラーハンド帳の配布
- ・まちなかケアラーズカフェの運営（3店舗）
- ・ケアラーサポーターの養成・訪問事業
- ・ケアラーアセスメントの実践
- ・見守り介護ロボの研究・実践

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・ケアラーサポートの制度化（ケアラーサポート法の早期創設を）
- ・ケアラーサポートの総合相談窓口の設置（高齢者・障がい者・子育て世帯への対応）
- ・ケアラーサポートの担い手不足
- ・町内会や老人クラブなど地域コミュニティの再構築
- ・住民主体のNPOやボランティア団体によるインフォーマルサービスの充実

●活動と運営の課題：

- ・対象者の把握
- ・活動ボランティアの確保と育成
- ・活動運営費の確保

●今後の目標：

- ・町内の情報インフラの整備（行政と住民が双方向で活用できる有線放送、コミュニティFM、スマートホンなど）
- ・24時間対応のケアラーサポート相談窓口の創設及びマンパワーの配置（福祉施設、医療機関、行政、社協、消防などが連携したシステムづくり、相談員の配置）
- ・ケアラーサポートに対応する体制（組織）の創設
- ・栗山町ケアラーサポート推進条例の制定

●その他：

(ふりがな：えべつけあらーず)

団体名：えべつかアラーズ

正会員

●団体概要

◇代表：加藤 高一郎

◇会員数：7名

◇活動地域：北海道江別市 札幌近郊

◇住所：〒069-0806 江別市新栄台 12-6

◇HP：無

◇Facebook 等：<https://www.facebook.com/えべつかアラーズ/316306035395378/>

●主な活動

- ・ケアラーズカフェえべつの営業（月2回）
- ・介護者支援に関連した講座、研修会の開催
- ・ケアラーズカフェ内でのワークショップの開催

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・我が国の一般的な感覚として存在する「弱さは隠すものであって表に出してはいけない」「ほかの人に迷惑になるから問題があった際は直さなくてはいけない」という思想が、ケアラーを社会で生きづらくしており、大きな足枷となっていると考えられます。
- ・人間の「弱い面」にふたをしてしまうことで、孤立し、閉じこもっていき、生きづらさが増幅されていきます。人間の「弱さ」「悪」の部分は公開されることによって、不安は減り、人がつながるきっかけとなり、助け合いにつながっていくと思っています。
- ・人間は品行方正に生きていける生き物ではありません。強い面と弱い面、両方あっての人間です。強い部分だけではなく、あえてこの弱い部分を共有することが、とても大事だと認識しています。特に虐待の本質や解決の課題はこのあたりにあると感じています。

●活動と運営の課題：

- ・福祉的な側面をもっているカフェということや、我々自身も今まで福祉的な面を強く打ち出してカフェを運営していました。その中ではなかなか集客に結び付かないという現実があります。
- ・今後は福祉色を前面に打ち出すのではなく、もっとカジュアルなイベントやきっかけを通じて集客につなげ、その先において様々な問題をスタッフが引き出したり、お客様と共に悩んだりしていきたいと思っています。

●今後の目標：

- ・ケアラーが「SOS」や「辛い」「助けて」を吐き出しやすい地域環境基盤の構築、そしてケアラーがさまざまな思いを発信しやすくするツールの開発。
- ・社会問題に関連した様々なケアラーに対応できるためのスタッフの人間力のベースアップ。

●その他：

(かいごしゃさぼーとねっとわーく けあむすび)
介護者サポートネットワーク ケアむすび

正会員

●団体概要

- ◇代表：東海林 良昌
◇会員数：10名（スタッフ）
◇活動地域：宮城県仙台市、塩竈市、石巻市
◇住所：〒985-0053 宮城県塩竈市南町11-1
◇HP：<http://knetpro.exblog.jp/>
◇e-mail：nenyo35@yahoo.co.jp
◇Facebook：<https://www.facebook.com/ksncaremusubi/?fref=ts>

●主な活動

2012年に活動をスタートした介護に携わる人々の支援や交流促進に取り組む市民組織。毎月仙台市や塩竈市などで談話会や交流会を開催しており、介護をしている人、されている人、介護職、近親者を見取った介護OBなど、介護に関わるさまざまな人々が集い、情報交換等を行っています。2015年からは個別相談を行う「介護者のこころのやすらぎ相談室」を開催し、より深い関わりに取り組んでいます。また、東北各地の介護者サロンとも連携しています。

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・介護離職、無職、低年金など経済的困窮による先行き不安

●活動と運営の課題：

- ・恒常的な賛助の必要性

●今後の目標：

東北各県に介護者サロンを立ち上げ、連携を取り合っていきたい。

●その他：

(にんていえぬぴーおーほうじん さいたまえぬぴーおーせんたー)
認定 NPO 法人 さいたま NPO センター

正会員

●団体概要

- ◇代表：中村 陽一（立教大学大学院教授）
◇会員数：210 人 ◇活動地域：埼玉県
◇住所：〒313-0807 さいたま市浦和区東仲町 12-12-102
◇電話番号：048-811-1666 ◇FAX：048-811-1888
◇HP：<http://www.sa-npo.org/> ◇e-mail：office@sa-npo.org

●主な活動

- ①非営利組織のネットワーク（NPO・組合・大学などとの非営利団体ネットワーク）
- ②市民活動支援施設運営（さいたま市桜環境センター環境啓発施設を受託運営）
- ③非営利組織のための相談・研修・支援事業（講師を派遣、組織診断を実施）
- ④市民自治・地域開発事業（介護者支援事業としてセミナーやサロンの運営などを実施）
- ⑤市民調査・発信事業（さんぽ ML／さんぽの発行など）

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

構造的に結婚しない人たちが層と増大しているので、ますます介護者の人手不足。介護を家族でシェアできない状況。社会的介護は費用が掛かり、結局、お金がない人ほど在宅介護となる。仕事をやめざるを得なかった人の「同居がまずかった」という言葉が、象徴的である。介護者がへこたれないようにフォローする仕組みがますます必要となっているが、ここでも日本人の奥ゆかしさからか声も上げないし、情報を探そうとする人が少なすぎる。

●活動と運営の課題：

運営スタッフはボランティアと割り切って介護者サロンの拡大を行ってきたが、根付かせるためには、「有償の専門家」が必要である。そして、その人を中心に介護者支援ネットワークを形成する必要がある。また、人材育成システムも必要。

●今後の目標：

- ・介護者サロンが継続的に運営できるように、利用者をふやすための宣伝を行う
- ・行政や企業と組んだ人材確保のための財源の創出
- ・介護者支援セミナーなどの啓発とボランティア発掘のための学習機会の創出

●その他：

28 年度からさいたま NPO センターとして「サロン」を運営し始めた。埼玉県内約 30 か所の介護者サロンスタッフの沿線別学習会（計 4 回）やポスター作りを実施中。

●団体概要

◇代表：布川 佐登美

◇会員数： 61名

◇活動地域： 千葉県柏市

◇住所： 〒277-0034 千葉県柏市藤心 1-29-12 ◇e-mail：nunokawa.satomis@sky.palala.or.jp

◇HP： <http://michikusa.com> ◇ Facebook：<https://www.facebook.com/michikusatei/>

●主な活動

※居場所事業

- ・ケアラーズ＆オレンジカフェみちくさ亭（ランチの提供と相談業務）毎週火・水・木
- ・介護者同士のおしゃべり会：第2土曜日
- ・ワークショップ・講習会・体操：第1・2・3月曜日／第4土曜日（地域住民との交流と講座の提供）
- ・認知症本人会：第4木曜日
- ・対人関係に支障を感じている若者・子ども支援 隔週金曜日

※介護者支援活動の啓発・講演

※みちくさファームでのケアラー＆コミュニティ農園活動

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・地域住民との関係を気にして、介護家族が近隣との交流を避けている傾向がある。近隣での関係性の必要性を伝えていくのと同時にカフェでも気心の知った関係をコーディネートすることも必要と感じている。
- ・若年性認知症の人の居場所が少なく、介護者はそのような場所を期待している。やりがいや生きがいを感じ、役割を担っていただく機会を増やしたい。
- ・制度面の情報が行き届いていない。支援者や介護歴が長い人からの情報が役立っているがサポート自身が勉強する必要を感じる。
- ・相談センターへのアレルギーが落ち着きだと専門の知識や情報を知りたくなるが気軽に相談できる機会を求めている。ケアラーズカフェに多職種の専門家に予約無しで相談できる機会を増やすことが課題

●活動と運営の課題：

- ・ケアラーズカフェだけでの相談の難しさを感じるため、地域の包括的な連携ケアシステムの必要性を感じる。
- ・居場所づくり・介護者に寄り添う人・介護者に必要な情報の提供と理解者を増やすサポートをさらに増やしたい。

●今後の目標：

- ・ケアラーの状況や実態を正確に把握するためのシートをどの支援者でも使用できるように
- ・カフェみちくさ亭での介護者へのサポートと本人パートナーの充実
- ・介護者支援団体ネットワークの構築

●その他：幅広いケアラー支援ができる場とし多種の支援者と手を組んでいきたい

(ふりがな：かみお らいふ でざいん)

団体名：(株) Kamio Life Design

準会員

●団体概要

◇代表： 神尾洋一

◇会員数： 1 名

◇活動地域： 千葉県

◇住所： 〒274-0805 千葉県船橋市二和東6-33-1

◇HP： -

◇Facebook 等：<https://www.facebook.com/kamio01829/>

●主な活動

要介護者＆介護者への癒しサービス

介護家族の人生設計コンサルティング

こころと体の癒しコンサート企画・実施

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

●活動と運営の課題：

●今後の目標：

●その他：

(えぬびーおーほうじん かいごしゃさぽーとねっとわーくせんたー・あらじん)
NPO 法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン

正会員

●団体概要

- ◇代表：牧野 史子
◇会員数：162名 ◇活動地域：主に首都圏
◇住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿1-25-3 エクセルコート新宿302号
◇e-mail：arajin2001@arajin-care.net
◇HP：<http://arajin-care.net>

●主な活動

- ①介護者のための電話相談・訪問相談 ②介護者のための交流サロン（娘サロン・息子サロン・若者サロン） ③支援者育成事業（介護者ソーター養成講座） ④介護者の会や地域コミュニティカフェ・認知症カフェの立ち上げ・運営ボランティア養成・運営支援（行政受託） ⑤ケアラーズカフェの立ち上げ・運営 ⑥介護者支援団体ネットワーク事業 ⑦研修・講演会・フォーラムの実施 ⑧調査研究事業 ⑨広報・出版事業 ⑩ゆうゆう館の管理運営（杉並区・行政受託）

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ①深く潜在化し、地域からも社会からも孤立しがちな介護者へのアプローチ ②多様な介護者の多様なニーズに対応するための有効かつ多様なサービスの創出（たとえば若年シングル層に対する就労支援など） ③介護者の問題に対する企業・社会・地域などの社会的認識の改革 ④社会全体として介護者問題を教育問題として捉えるアプローチ ⑤介護者支援団体のさらなるネットワーク強化

●活動と運営の課題：

- ①活動資金の確保 ②介護者問題に有効、有益な自主かつ収益事業の確立 ③組織内のより効率的なマネージメント ④組織継続のための若い人材の育成

●今後の目標：

- ①地域に根差した拠点づくりと地域掘り起しの支援 ②地域における介護者支援人材の育成とネットワーク化 ③企業対象の「介護初動研修」の実施 ④「介護者教育テキスト」の作成 ⑤ケアラーズカフェ・認知症カフェ・介護者の会などの立ち上げノウハウの普及・啓発

●その他：

(えぬびーおーほうじん すぎなみかいごしゃおうえんだん)

NPO 法人 杉並介護者応援団

正会員

●団体概要

◇代表（理事長）：北原 理良子

◇会員数：50人

◇活動地域：杉並区内中心

◇住所：〒168-0065 杉並区浜田山2-13-1

◇e-mail：s_kaihisha_ouendan@jcom.home.ne.jp

◇HP：<http://www.sugi-chiiki.com/k-ouendan/>

◇Facebook等：ブログ ameblo.jp/sk-ouendan/

●主な活動

①区内11か所の介護者の会・認知症カフェ（Mカフェ）・晩めし屋など、高齢者や介護者が集い、情報交換や気軽な相談ができる場の開催・運営。

②介護予防や地域づくりのために高齢者福祉施設の管理運営を杉並区より受託。高齢者の交流の場と、生きがい・健康づくりのプログラムを提供。

③認知症についての啓発活動。寸劇を取り入れた授業を行い、小・中・高校生への啓発に協力。
(H29年度から、区内全小学校で認知症サポーター養成講座実施)

④人材養成講座の開催

こうした活動を通して、お互い様の気持ちで支え合う介護者支援の拠点づくりを目指す。

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

・介護保険制度の縮小傾向による経済的な負担の増加。

・介護者支援が謳われながらも、具体的な予算はつかず、介護離職、介護者の疲弊状態への対応ができない。

●活動と運営の課題：

・介護者の会や認知症カフェの開催場所や必要経費が安定的に確保できない。

・活動継続・発展のための若い人材の育成

●今後の目標：

・担い手の育成

・魅力のあるカフェ等集い場づくり

●その他

(いっぽんしゃだんほうじん にほんけあらーれんめい)
一般社団法人 日本ケアラー連盟

正会員

●団体概要

- ◇代表：児玉 真美、津止 正敏、堀越 栄子、牧野 史子
◇会員数：86名・2団体 ◇活動地域：全国
◇住所：〒160-0022 東京都新宿区1-25-3 エクセルコート新宿302
◇電話番号：03-3355-8028(金13:00~17:00) FAX：03-5368-1956
◇e-mail：info@carersjapan.com ◇HP：<http://carersjapan.com>

●主な活動

- 1 介護をしている人、介護者を気遣う人に関する調査研究（報告書等HPよりダウンロード可）
- 2 介護者支援のための立法提言を含む政策立案・提言活動（「ケアラー支援法」制定等）
- 3 介護をしている人、介護者を気遣う人に関する支援事業（ヤングケアラー支援等）
- 4 介護者支援の必要性と政策実現を目的とした啓発・情報提供事業（ケアラー支援フォーラム等）
- 5 国際活動（日本の介護者に関する英文パンフレットの作成、IACO・国際ケアラーズ会議関連の活動等）

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- 1 介護者の問題：普通の日常生活・社会生活ができない（子ども・若者ケアラー、学業、結婚、就活、仕事、遊び、人づきあい、余裕等）、心身の健康不調、孤立、経済的困窮
- 2 介護者の課題：日常生活・社会生活のための時間保障、社会生活の機会均等
- 3 介護者支援の問題：介護者支援の必要性について問題の背景もふくめて社会の認識が弱い／介護者というと、老々介護（とくに認知症介護）中心で、ようやく管理職男性、ダブル介護に政府が目を向けてきた段階である／政府の取り組みは「介護支援」にとどまり「介護者支援」になっていない／日本の保健福祉医療制度や関連諸制度（教育・雇用等）には介護者支援の観点がなく、現在の政策動向は在宅介護・生活支援をより一層家族・地域の責任とする方向に向かっている。
- 4 介護者支援の課題：介護者が理解され追いつめられないよう、介護者の存在・実態・支援の必要性を知ってもらう／ケアラーをあたり前の社会生活を送る独立した人間としてとらえ、その権利を保障する（ケアラー支援法制定、条例の制定→自治体も取り組める）／国や各地域での介護者支援体制・施策の提言と具体的提案を行う（ライフサイクルや家族形態を考慮）／介護者を支援できる人（市民、専門職）の育成と支援ツールの開発

●活動と運営の課題：

- 1 活動の課題：法制定に向けた知識・スキル、人的体制、資金、推進体制、ネットワーク
- 2 組織運営の課題：事務局体制、財政事情

●今後の目標：ケアラー（介護する人）があたり前の社会生活をおくれるように、「介護者支援の推進に関する法律」（「ケアラー支援法（略称）」）や条例の制定を実現する。

●その他：ケアラーとは：日本ケアラー連盟は、「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」などにより、心や体に不調のある家族や近親者・友人・知人などを無償でケアするすべての人を、ケアラーとよんでいます。

(れびーしょうたいがたにんちしょうかいごかぞくおしゃべりかいねっとわーく)
レビー小体型認知症介護家族おしゃべり会ネットワーク

正会員

●団体概要

◇代表：加畠 裕美子

◇会員数：(会員制ではありません) ◇活動地域：東京・京都・札幌・石川・名古屋

◇住所：〒142-0063 品川区荏原6-10-10

◇HP：<http://dlboshaberinet.blog.fc2.com/>

◇e-mail：dlb_oshaberinet@yahoo.co.jp

●主な活動

- ・各地域で患者、介護家族のためのレビーおしゃべり会を開催。患者、家族でつくる会。
(ひとつの医療やケアの方法に偏らず、「生活」から「医療」まで公平に語りあう会である。)
- ・全国において、レビー小体型認知症の啓蒙活動のため、講演会講師、勉強会・研修会講師をする。
- ・レビーフォーラムや講演会の企画、協力。

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

「レビー小体型認知症」はアルツハイマーについて、第二の認知症と言われ、名前こそ知られるようになり、診断もされるようになってきたが、その後の適切な治療や正しいケアが受けられているかというと「NO」と言わざるをえない状況である。患者と家族が実感していることと、医療、ケア支援の実際は非常に乖離している。また医療や支援者の病気への解釈が「認知症」を主体にすることから、誤診も多く、これもまた大きな弊害となっている。「レビー小体型認知症」は非常にスペクトラムが広く、「認知症」以前に「神経疾患の病気」であることを知ってもらいたい。介護者はこういう状況から、どちらかというと非常に熱心に情報収集する人が多い。その反面、多彩な症状についていかれず、医師に頼りっぱなしになることもある。そのどちらにも対応できるよう、家族同士の情報交換もしながら、家族会としては正しい情報を整理し、選択肢を増やし、穏やかな日々を維持するため、心を支えあいながら、努力を続けているので、この活動を通じて、医療、介護、社会へと「レビー小体型認知症」を発信し続けることが大事だと思っている。

●活動と運営の課題：

各地域の発起人の努力により、それぞれの会が成り立っている。個人活動ではあるが、そこに参加した方々は応援を惜しまないので、今の状態で存続していくことだろう。

●今後の目標：

全国のレビー小体型認知症のご家族に、ひとつの医療やケアの意見に偏らない、家族中心の「レビーおしゃべり会」があり、支えあう仲間がいるということをささやかに伝えていきたい。小冊子などを発行する目標あり。

●その他：

(わーく あんど けあ ばらんす けんきゅうしょ)
ワーク&ケアバランス研究所

正会員

●団体概要

- ◇代表（主宰）：和氣 美枝
◇会員数：
◇住所：〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂413
◇電話番号：03-6277-5456
◇HP：<http://wcb-labo.com/> ◇e-mail：info@wcb-labo.com
◇Facebook等：<http://carers-concier.com/> <https://www.facebook.com/wcb.lab/>

●主な活動

・介護離職防止の啓発

企業団体向け：セミナー等、相談窓口請負、コンサルティング など

個人向け：介護者の会「働く介護者おひとり様介護ミーティング」企画・運営

情報サイト「ケアラーズコンシェル」運営

ケアコンハンドブック頒布

その他：各種メディア媒体での執筆または取材対応

・介護離職者向けのお仕事提供

ケアラーズプチジョブ

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・未来の介護者：知識不足
- ・現在の介護者：情報の不行き届き
- ・介護離職者：就労意欲の減退・低下
- ・企業団体：介護離職問題／仕事と介護の両立問題意識の低さ
- ・その他：介護離職防止対策および仕事と介護の両立支援ノウハウを教授できる人間がいないこと、地域包括支援センターの存在を知らないこと

●活動と運営の課題：

- ・経営が成り立たない

●今後の目標：

- ・経営をする
- ・事業計画をつくる

●その他：

(えぬびーおーほうじん あっぷつりー)
NPO 法人 UPTREE

正会員

●団体概要

- ◇代表：阿久津 美栄子
- ◇会員数：36名 ◇活動地域：東京都小金井市
- ◇住所：〒184-0002 東京都小金井市梶野町1-2-36 R05
- ◇電話：042-288-7700
- ◇HP：<http://uptreex2.com/> ◇e-mail：info@uptreex2.com
- ◇Facebook：[facebook.com/Npo 法人 uptree-373523589466486](https://www.facebook.com/Npo法人uptree-373523589466486)

●主な活動

- ・「介護者の居場所づくり」・まちカフェ・1Day ケアラーズカフェ・認知症カフェおれんじ
- ・「介護者を支えるひとつづくり」・介護者サポート一養成講座・介護者予備校
- ・「介護者に必要な情報提供」・介護者手帳・介護者新聞
- ・「個別支援」・個別相談・助け合い事業

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・介護者の抱える孤独・情報格差

●活動と運営の課題：

- ・継続的運営資金

●今後の目標：

- ・介護者の総合的支援

●その他：

(にんちしようかいごしゃのおしゃべりかい)
認知症介護者の おしゃべり会

準会員

●団体概要

- ◇代表：西澤 恵
- ◇会員数：不明（名簿をつくっていない） ◇活動地域：東京都世田谷区
- ◇住所：〒158-0082 東京都世田谷区等々力（番地省略）
- ◇e-mail：jacob@sd5.so-net.ne.jp
- ◇Facebook：代表者個人のもの

●主な活動

- ・家族介護者の語り場（1994年より）
　　デイホームと地域活動フロアを借りて、各々月1回2時間ほどのおしゃべりをしています
- ・行政主催の《認知症高齢者の家族の会》に参加し、家族側からの支援
- ・地域の介護職医療職の会合に出席し、介護家族としての意見等を発信
- ・地域の多職種連携によるケアコミュニティにかかわり、認知症カフェ等の手伝い
- ・地域のボランティア団体との連携で、通信にコラム連載、および認知症の勉強会・講話・講座等で講師役担当

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

特になし

●活動と運営の課題：

特になし

●今後の目標：

話に来る方がいる間は、続けていきます。

●その他：

(けあらーずかふえ みやのもりかふえ)

ケアラーズカフェみやの森カフェ（一般社団法人 Ponte とやま内）

正会員

●団体概要

◇代表：水野 カオル

◇会員数：2

◇活動地域：富山県

◇住所：〒939-1406 富山県砺波市宮森 303

◇電話番号：0763-77-3733

◇HP：<http://ameblo.jp/toyamadecoboco> ◇e-mail：miyanomori.ponte@gmail.com

●主な活動

- ・ケアラーズカフェみやの森カフェを運営（ランチなどの営業と相談を受ける事業）
- ・ほっとなみほっとカフェ（砺波市との協働の認知症カフェ）
- ・介護に悩む人の相談事業（介護おしゃべり会・水曜相談）
- ・生きづらさを持っている子どもたちのプログラムと相談事業（園芸療法・カフェ体験・工作教室・学習サポートなど）
- ・生きづらさを持っている若者への支援事業（就労体験活動・学習会・おしゃべり会・相談など）

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

当方への相談は、不登校、引きこもり、発達障がいなど子どもの相談がほとんどである。しかし、それを相談に来る人の困難は単一ではなく、親の介護、親・夫との関係、学校・友人とのトラブルなど複雑なケースが多い。その場合は、教育・福祉・行政・医療機関とも連携をはかっていくようにしている。一人の人に対してチーム（ネットワーク）としての支援は重要である。

●活動と運営の課題：

現在は、理事である二人と有償のボランティア（カフェ 3 名、畠 2 名、子どもの活動や学習サポート 9 名）で活動している。認知症カフェ以外は助成金や補助金は導入していないので、財政的には厳しい現状である。また、地元の人にまだ周知されていない。

●今後の目標：

ケアラーズカフェの存在と役割を知ってもらうことで、介護者支援の視点を理解してもらう。気軽に相談できる場であることを周知する。

●その他：

子ども・若者支援のネットワークは充実してきているので、高齢者介護のネットワークを作っていきたい。

(いっぽんしゃだんほうじん けあさぽーとねっとわーくぴーなっつ)
一般社団法人 ケアサポートネットワークピーナッツ

正会員

●団体概要

◇代表（代表理事）：山川 治

◇会員数：

◇活動地域：石川県野々市市、金沢市

◇住所：〒921-8815 石川県野々市市本町2丁目21-19（2丁目カフェ内）

◇電話番号：076-294-3225

◇HP：http://www7b.biglobe.ne.jp/~caresapo_peanut/ ◇e-mail：caresapo_peanut@ked.biglobe.ne.jp

◇Facebook等：<https://www.facebook.com/2sec.peanut/>

●主な活動

- ・コミュニティーカフェ（2丁目カフェ）による地域福祉活動から家族問題を見つめ、ケアラーのニーズを掘り起こし、支援につなげていく
- ・成年後見制度事業を通じて、ケアを受ける人と、ケアラーの物理的距離のあるなかでの支援をする

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・成年後見制度の誤った理解により、成年後見制度が利用されず、財産および身上監護上、ケアを受ける人、ケアラーともに権利侵害を受けているケースがある
- ・地方社会であればあるほど、地域コミュニティーに深耕してもなかなか、家族が問題を表出させない

●活動と運営の課題：

- ・コミュニティーカフェの継続
- ・コミュニティーカフェの相談機能とコミュニティ機能の強化

●今後の目標：

- ・成年後見制度の正しい理解の啓発
- ・コミュニティーカフェでの月1回イベントによる地域の再興

●その他：

(こうえきしゃだんほうじん にんちしょうのひととかぞくのかい あいちけんしふ)
公益社団法人 認知症の人と家族の会 愛知県支部

正会員

●団体概要

◇代表：尾之内 直美

◇会員数：620

◇活動地域：愛知県全域

◇住所：〒477-0034 愛知県東海市養父町北堀畠 58-1

◇電話番号：0562-33-7048 ◇FAX：0562-33-7102

◇HP：<http://www.hearttoheart.or.jp/kazoku> ◇e-mail：rara2@ma.medias.ne.jp

●主な活動

認知症介護家族支援

- ・介護者交流会（一般・シングル・若年・ジェントルマン）・若年サポート勉強会
- ・家族支援講座「家族支援プログラム」の考案、実施・交流会づくりサポート
- ・電話相談・いかがですかコール・相談員養成講座・ケアラーズカフェ日向家＆個別面談相談
- ・リフレッシュ旅行・認知症講演会・専門職向け研修会・ケアラーマネジメント勉強会
- ・出版（ケアラー手帳・介護家族をささえる・マンガで学ぼう認知症冊子）家族支援DVD制作 等

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

介護者人口の増加とともに、介護者も多様化し、ニーズに合わせた多角的なサポート体制が必要となってきている。

●活動と運営の課題：

活動資金作り

●今後の目標：

●その他：

(えぬびーおーほうじん てとりん)
NPO 法人 てとりん

正会員

●団体概要

- ◇代表：岩月 万季代
◇会員数：100名 ◇活動地域：愛知県春日井市
◇住所：〒486-0851 春日井市篠木町 2-1281-1 ポプラハウス 1F
◇e-mail：totorin2010@yahoo.co.jp
◇HP：http://totorin.jimdo.com
◇Facebook：https://www.facebook.com/totorinhouse/

●主な活動

- * 常設の「家族介護者支援センター てとりんハウス」の運営
 - ・ 家族介護者の心のケア、情報提供、介護者同士の交流、電話相談
 - ・ ケアラーズカフェ 認知症カフェ として毎日の喫茶営業
 - ・ 介護者支援活動の啓発活動、講演
 - ・ 介護者の支援者養成
 - ・ 適宜、介護保険サービスで補完されない介護者のニーズに応える活動
- * デイサービスてとりん村の運営
- * ケアラー＆コミュニティ農園の運営

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・ 介護者が自らの状況を客観的に把握し、適切な介護状況を選択できない要因がある
- ・ 医療・介護・地域の連携が未熟で、そのツケを介護者とてとりんハウスが被っていること
- ・ 介護保険サービス在りき、の介護現場で、介護者の生活自体が見過ごされがちになっていること
- ・ 介護者の姿、実態が社会に認識されていないこと

●活動と運営の課題：

- ・ 安定的な介護者支援活動を継続していくことの難しさ（金、人、場所）
- ・ 介護者支援の根拠となる、介護者支援学、が確立されておらず、拠るところがないこと

●今後の目標：

- ・ 介護者支援の根拠となる、介護者の実態とその支援の必要性を明らかにしていくこと（アセスメント）
- ・ 繼続的な支援活動の基盤づくり
- ・ 「声なき介護者」のニーズを掘り起こし、支援に結び付けること

●その他：

- ・ 介護のみならず、障害や貧困と結びついた複合的な問題の相談が増えてきました。
- ・ 自分たちでデイサービスを運営してみて、介護保険事業が介護者支援と結びつくことの重要性を実感しています。一方で、デイサービス、てとりんハウス共に経営はたいへんです。

(いっぽんしゃだんほうじん はっぴーねっと)
一般社団法人 ハッピーネット

準会員

●団体概要

◇代表：堀 容子

◇会員数：162名

◇活動地域：愛知県、東京、大阪、静岡

◇住所：〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20 名古屋大学大幸キャンパス内

◇e-mail：office@emikin.com ◇HP：<http://www.emikin.com/>

●主な活動：医療制度改革により新システムから取り残される人に対して支援を実施することを目的として活動している。さまざまな分野の研究者が法人にいるという強みを生かし、専門的知見に基づき、1. 地域丸ごとケアラー支援（健康支援事業）、2. 笑いと健康に関する事業、3. 介護ロボット育成事業（アザラシ型ロボット・パロ、歩行支援ロボット）として、下記の①～⑤を実施している。①人材育成：ケアラーヘルスサポーター養成講座（名古屋、堺、静岡）、笑み筋体操インストラクター養成講座 ②啓発活動：a)両事業に対する講演・セミナー、b)執筆活動、③)ケアラーヘルスサポーターによる健康支援活動：春日井市、安城市、名古屋市、SNSやメールでの相談、④調査・研究：両事業に対する学会発表や、論文執筆活動、⑤街づくりプロジェクトでのケアラーへの健康支援活動の基盤づくり

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

①意思決定への支援：自分の健康を二の次にする介護者が少なくない。しかし、社会保障削減の時代、「生活習慣を送ることを選択した結果としての病気」ゆえに「病気になっても自己責任」とする流れは強化されつつある。介護者に自身の健康に対する意思決定を促す支援が必要と考える。②ケアラーの罪悪感や自尊心の低下の予防と回復への支援：これらの心理状況にあると人間は自罰的かつ献身的に相手に尽くしやすい。アザラシ型ロボット・パロの使用により、在宅での共依存の予防の示唆が得られた。また、パロによる認知症のBPSD改善効果は、オキシトシン分泌によることが予測された。③健康セルフマネジメント力の能力向上への支援：専門職は情報を得て専門職としての判断し、実行する。しかし、医師等の専門職が求める情報が何かを理解している人は少ない。④健康支援活動の収益化：カルテを作成してケアラーの継続した健康支援活動を実施しており、一定の成果を上げている。ボランティア活動を継続するためにも、健康支援活動を他地域で一般化するためにも、少額でも良いので収益を得る方法を構築する必要がある。

●活動と運営の課題：

当法人の健康支援活動は、介護者だけでなく、あらゆる住民にも有効と考える。しかし、お金になる活動ではないので、介護ロボットやIoTなどの実証実験などの委託事業を増やしていく。また、健康支援活動を一般化するためにも、健康支援活動での収益を得る方法を構築する。

●今後の目標：地域包括ケアシステムの中に、地域丸ごとケアラー健康支援活動を位置づけられるようにする。活動報告などを学会や論文などに投稿する。健康支援活動で報酬を得る方法を構築する。開発者と協働し、アザラシ型ロボット・パロの使用でオキシトシンの分泌が促進するかの実証実験を行っていく。また、認知症カフェでのロボットセラピーを実施。

●その他 問い合わせ・質問がある場合は、office@emikin.com happynet@yahoo.co.jpまで

(だんせいかいごけんきゅうかい)
男性介護研究会

正会員

●団体概要

- ◇代表：津止 正敏
◇会員数：会員制度は導入していない
◇住所：〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学人間科学研究所気付
◇HP：なし ◇e-mail：t.sudome@ss.ritsumei.ac.jp

●主な活動

- ・男性介護者に関する研究会の開催（不定期）
- ・男性介護者に関する調査の実施

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

- ・介護者を支援する仕組みと方法の実際についての臨床研究の必要性

●活動と運営の課題：

1. 定期的な研究会の開催
2. 研究成果の公表
3. 研究資金の獲得

●今後の目標：

1. 定期的な研究会の開催
2. 「学会」的な紀要の発行

●その他：

(だんせいいかいごしゃしえんねっとわーくひょうご)
男性介護者支援ネットワークひょうご

正会員

●団体概要

◇代表：神尾 洋一

◇会員数：7団体

◇活動地域：兵庫県下

◇住所：〒669-1321 兵庫県三田市けやき台 3-2-8 北村方

◇電話番号：075-466-3306 ◇FAX：075-466-3306

◇HP：<http://dansei-kaigo.jp/aboutus/> ◇e-mail：007carpentier25@nike.eonet.ne.jp

◇Facebook 等：<https://www.facebook.com/男性介護者支援ネットワークひょうご-240101222730319/>

●主な活動

現在は特に独自の活動をしていないが、参加団体の連携を取るようにしている。

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

参加の各団体が連携することによるメリットを提供できていないと思われる。

●活動と運営の課題：

各参加団体情報交換により、それぞれが持つノウハウの共有を図る。

●今後の目標：

情報交換の場を定期的に開催すること。

●その他：

●団体概要

- ◇代表：丸尾 多重子
◇会員数：245名 ◇活動地域：全国
◇住所：〒662-0972 兵庫県西宮市今在家町1-3
◇電話番号：0798-35-0251 ◇FAX：0798-35-0251
◇HP：http://www.geocities.jp/tsudoiba_sakurachan/
◇e-mail：sakurachanmaru@bca.bai.ne.jp

●主な活動

- ①介護者が孤立しない為に「つどい場」に来られ、お昼ごはんと一緒に食べる事から、本音トーク、感情の吐露と、情報が得られる、その為にはいろんな立場の人達が立場を超えて「まじくる」「つどい場」
- ②認知症でも車いすでも街に出て旅行に行く「おでかけタイ」
- ③学ばなければ「学びタイ」
- ④地域で介護保険ではできない 話し相手・散歩の相手「見守りタイ」

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

以前は介護家族の方が泣きに来られていましたが、最近は施設で働いている介護職が悩みを訴えに来られます。それだけ、在宅で介護している家族が減り、家族の介護力が弱まり、その分、施設に入る高齢者が増え、スタッフの忙しさが増えています。

●活動と運営の課題：

現在全てスタッフはボランティア（無償）です。これからは、報酬が出るような運営が望ましい。只、行政等に助成金を出してもらうと、しばり、くくりが多くなる。

●今後の目標：

「つどい場」の次は、様々な世代、職業の人たちが「まじくり」、出来ることはする。介護を受けるようになると素直に受ける。「自立」しながら「共助」を行い、中心に「つどい場」がある、を造りたい

●その他：

人生の最後が施設か病院では寂しそう。
老後がワクワク、明るいものにしてゆかねば……。
いろんな世代が「まじくる」ことの大切さ。

(はたらくかいごしゃほっとすてーしょん すまいる) 働く介護者ほっとステーション「すまいる」	正会員
●団体概要	
◇代表：当団体の方針で置いていません。	
◇会員数：10名	◇活動地域：岡山県
◇住所：〒980-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院社会文化科学研究科 本村研究室内	
◇e-mail：tomtom@okayama-u.ac.jp	
◇Facebook： https://ja-jp.facebook.com/hatarakukaigosya.smile/	
●主な活動	
・2か月に1回のペースでの「働く介護者のつどい」の開催	
・岡山大学と共に介護者支援に関する講演会やシンポジウムの開催	
●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：	
・公的なサービスの乏しい重度の要介護者、難病患者をケアする介護者の精神的・経済的・肉体的負担の軽減をいかに実現するか。	
●活動と運営の課題：	
●今後の目標：	
・岡山大学の資源（人、場所、資金獲得のノウハウ、研究力）を活用した大学と地域との協働する介護者支援の実現	
●その他：	

(えぬびーおーほうじん かいごん) NPO 法人 介護ん（おかやまワーク・ケア・バランスの会）	正会員
●団体概要	
◇代表：井上　きよみ	
◇会員数：35名	◇活動地域：岡山県倉敷市
◇住所：〒710-0052 岡山県倉敷市美和1-2-4	
◇電話番号：086-430-0310	
◇HP： http://workcare.jp/	◇e-mail： info@kaigon.net
◇Facebook等： https://www.facebook.com/workcareblance/	
●主な活動	
現役世代を中心とした介護家族会「おかやまワーク・ケア・バランスの会」を月1回(原則第4土曜日)開催	
●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：	
<ul style="list-style-type: none"> ・相談できる場所を知らず、独りで悩み、離職する人が多く、いったん離職すると、経済的、精神的にさらに追い込まれる。 ・仕事をしながらの介護は、地域や専門職からの情報が得にくい。 ・仕事と介護が両立できる職場が極めて少ない。 	
●活動と運営の課題：	
<ul style="list-style-type: none"> ・公的な組織でなく、また行政の補助が出るオレンジカフェでもないので、地域包括支援センター等の支援機関が、介護者に会の存在を教えない。 ・ほとんどボランティア開催のため、資金がなく、広報等の活動がなかなかできない ・在宅介護から施設介護になった時、もしくは要介護者の死亡により、会から離れるため、継続的に勉強会などをするのが難しい。 	
●今後の目標：	
<ul style="list-style-type: none"> ・2016年12月末に事務所移転をするため、今後の活動は未定。 　ただし、大きな病院の前に移転するので、病院とのつながりを深めたいと思う。 	
●その他：	

(ふりがな：エヌピーオーホウジンカゾクカイゴシャサポートネットワーク・ハピネス)
団体名：NPO 法人家族介護者サポートネットワーク・はぴねす

正会員

●団体概要

◇代表： 北川 朝子

◇会員数：18名

◇活動地域：広島県広島市

◇住所：〒739-1732 広島市安佐北区落合南4丁目21-23

◇電話番号：082-559-1064

◇HP：<http://cares-happiness.net/>

◇Facebook等：

●主な活動

- ①家族介護者を支援する場・居場所づくり活動（ケアラーズカフェ＆キッチン・はぴねす運営）
- ②家族介護に関する情報収集・提供活動（介護情報及び地域情報コーナー設置）
- ③家族介護に関する相談・援助活動（健康相談会の実施、要介護者1時見守りコーナー設置）
- ④介護に関する講演・研修会等の啓発活動（介護者サポート一養成講座の開催、アロマカフェ、ハンドトリートメント講座等の定期開催）

2017年1月27日より広島初のケアラーズカフェをオープン。地元新聞社、経済レポート、地元TV局、日経新聞地域版、新聞販売店広報誌、ひろしま国保 等多くのパブリシティに取り上げられ、広報は順調にスタート。介護者が要介護者と共に楽しめる居場所として再訪する方（認知症の方や若年性認知症の方）も多くあり、近隣住民が気軽に立ち寄れる場として、口コミで徐々に広がりを見せている。

●活動から見えてくる 介護者の問題と課題：

オープンから半年が経過。物珍しさもあり、各種のパブリシティで取り上げられたが、まだまだ「介護者支援」は認知されておらず、まずは、介護者への啓発活動を市社協、地域包括センター、民生委員、ボランティア等多くの方々と連携しながら推進、継続した啓発活動をいかに行うかが今後の課題。

●活動と運営の課題：

カフェ運営には予想以上に時間と手間がかかり、料理を作ることなどに追われているのが現実各種イベントを色々と仕掛けていきたいが、後手にまわっているので、カフェの効率を上げ、運営のしくみを構築していきたい。

●今後の目標：

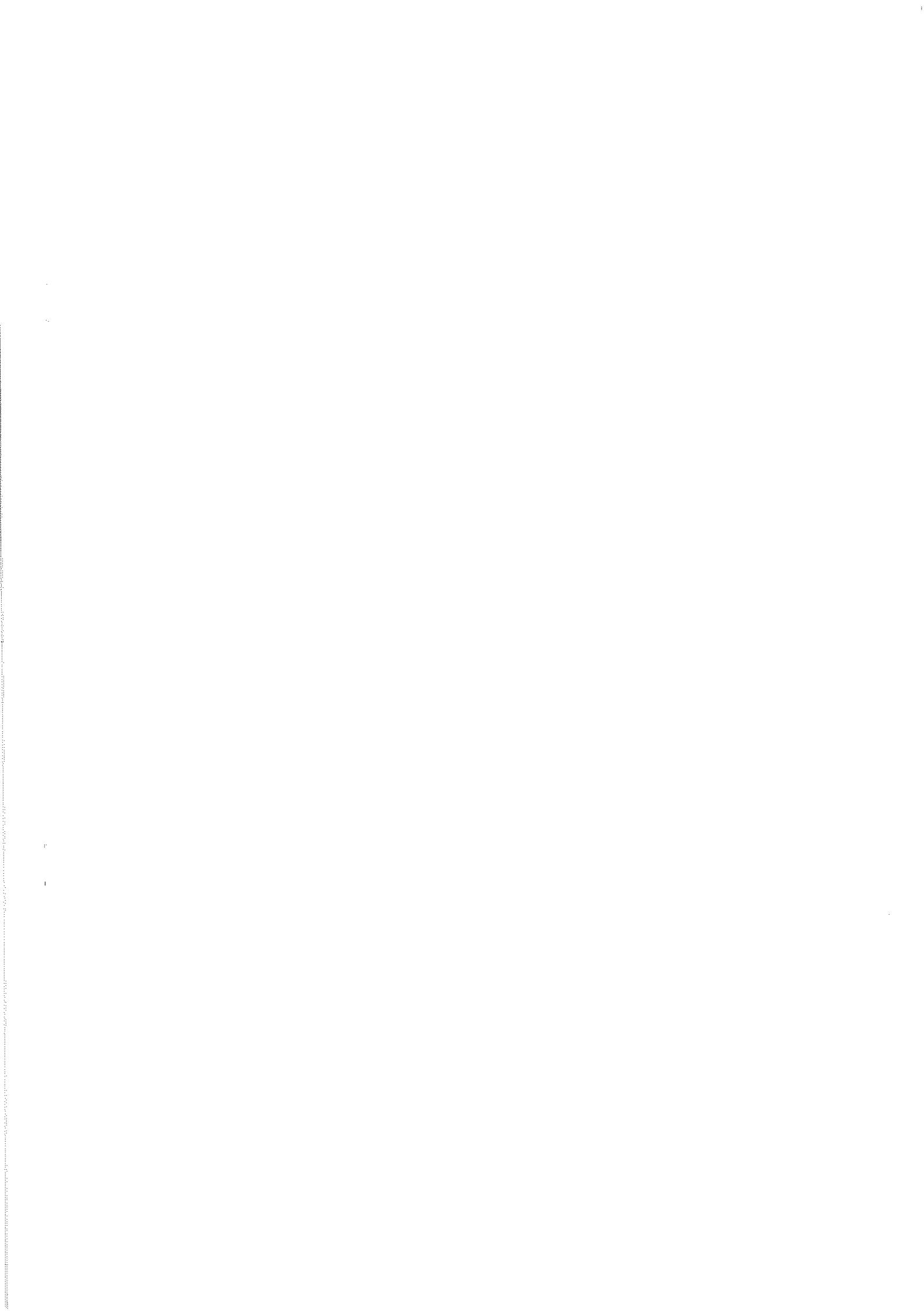
各種イベントの推進（毎週開催）

介護者支援の啓発活動の推進（HPの更新と情報発信）

カフェの効率的運営（店舗の有効活用策の検討）

認知症カフェの取組み（補助金申請）

●その他：



2017年12月17日

全国介護者支援団体連合会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-10 橋場コ一ポ 305

TEL:03-5368-1955(事務局開所:毎週水曜 11:00~18:00)

FAX:03-5368-1956 E-mail:zenkokukaigo@gmail.com

web:<http://kaigosyasien.jimdo.com>